

酒田高等女学校（酒田西高校）報国農場



グライダーに試乗する酒田実科高等女学校（酒田中央高校）の生徒

第192回企画展

戦後70年 戦時下の青春

平成27年

6月27日(土)～9月13日(日)



酒田にあった日満技術工養成所



酒田実科高等女学校の農繁期勤労奉仕



学校のグラウンド造りに奉仕する
酒田商業学校（酒田商業高校）の生徒たち

開館時間

午前9時～午後4時30分（展示期間中無休）

入館料

一般 100円、小学生～大学生 50円（土日は小・中学生無料）

酒田市立資料館
SAKATA CITY MUSEUM

〒998-0046 山形県酒田市一番町8番16号 TEL/FAX: 0234-24-6544
E-mail: sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

戦後70年 戦時下の青春

太平洋戦争終結から70年がたちました。

戦争は、出征兵士とその家族の暮らしを翻弄し、戦況の悪化とともに、すべての国民に厳しい耐乏生活を強いていきました。大人だけでなく、現在の中高校生と同世代の少年少女たちも、食糧増産のための農作業や、軍需工場などでの労働に明け暮れました。また多くの少年たちが、軍人を目指し、あるいは満州開拓の夢を抱いて、酒田を旅立ちました。戦時下に生まれ育った彼らは、「今はつらくても必ず勝つんだ」と信じて、過酷な毎日を生き抜きました。

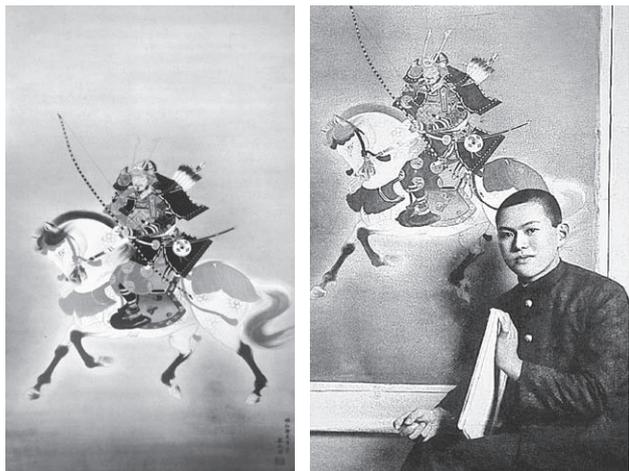
今回の企画展では、酒田市内の各高校から提供いただいた写真など、戦時下の学校生活を記録した貴重な資料を集めました。豊かな画才を持ち、日本画家としての将来を期待されながら戦死した、酒田出身の岡部敏也の作品、遺品も展示します。

戦没画学生・岡部敏也

豊かな画才を持ちながら25歳で戦死

大正9年(1920)、酒田市元米屋町(現在の一番町)に生まれ、11歳ころから日本画の手ほどきを受ける。酒田商業学校(後の酒田商業高等学校)から東京美術学校(現在の芸大)日本画科に進み、首席で卒業する。一刻の時間も惜しんで絵の制作に没頭したという。

酒商4年の時に、全国中等学校絵画展覧会で入選。美術学校時代には日本画展、大日美術院展で入選し、文展(現在の日展)でも入選するなど、将来が期待された。しかし、卒業から間もない昭和18年(1943)10月に山形連隊に入隊し出征。終戦直後の昭和20年(1945)8月26日、旧満州で戦死した。



酒商時代の17歳で制作した日本画「出陣」と、作品の前でパレットを持つ岡部敏也



学徒動員により、群馬県の中島飛行機小泉製作所で働いた酒田中学校(酒田東高校)の生徒たち(昭和19年)



軍需品の下請作業を行う酒田裁縫女学校(天真学園高校)の生徒たち(昭和13年)

戦後70年展 関連イベント

◆戦時中の体験談を聞く会◆

10代で戦争を体験された市内在住の方から、勤労奉仕、酒田空襲、海軍兵学校・予科練への進学など、当時の体験談を語っていただきます。

日 時：7月18日(土) 午前10時～午前11時30分

会 場：酒田市総合文化センター 411号室

話し手：金湖欣三氏(両羽町)、後藤隆氏(御成町)、堀妙子氏(亀ヶ崎)

定 員：50人程度

料 金：無 料

7月11日(土)まで資料館へお申し込みください。

問 酒田市立資料館 Tel.0234-24-6544

資料協力

岡部一紘氏、後藤小雪氏、佐々木良成氏、原田清廣氏、堀妙子氏、三浦民雄氏、三浦力氏、天真学園高等学校、山形県立酒田光陵高等学校、山形県立酒田西高等学校、山形県立酒田東高等学校、松山文化伝承館

次回企画展予告

鳥海山 -歴史と災害-

平成27年9月18日(金)～11月23日(月)